

## じつぎ しけん (しょきゅう) の がいよう と じっしゅう の ぽいんと

### 1. せいけい かこう さぎょう

#### ① せいさく とう さぎょう しけん

【かだい1】 ほごぐ、ふくそう の ちゃくよう

<ひょうじゅん じかん、うちきり じかん : せいげん なし>

じつぎ しけん に てきた ほごぐ、ふくそう を しけん します。

<実習のポイント>

『実技試験に適する服装と保護具(安全衛生)』に記載の項目、内容に従って、日々の実習で繰り返し指導してください。

【かだい2】 あんぜん えいせい(さぎょう はじめ の あんぜん さぎょう)

<ひょうじゅん じかん : 4ふん、うちきり じかん : 5ふん>

(1)さぎょう ばしょ、(2)つうろ、(3)ゆかめん の あんぜん てんけん および  
しさ こしょう の しけん を します。

しさ こしょう は (1)、(2)、(3) を それぞれ おこないます。

<実習のポイント>

「異常がわかる」「正常に戻す」「指差呼称する」手順を繰り返し実習してください。(スペースの確保、不要物、水・油漏れ、危険なもの有無)

指差呼称は『指差呼称とは(効果とやり方)』を参考にして指導してください。

【かだい3】 きかい じこうぐ そくていき とうの てんけん せいび さぎょう

<ひょうじゅん じかん : 7ふん、うちきり じかん : 10ふん>

さぎょう で つかう じこうぐ、そくていき の せんてい(えらぶ こと) と  
てんけん および しさ こしょう の しけん を します。

てんけん および しさ こしょう は、それぞれの じこうぐ、そくていき で  
おこないます。

せいけいき(ふれす) の あんぜん てんけん および しさ こしょう の しけん  
を します。

ひじょうていし、らいと かーてん などの あんぜん てんけん を した あと に、  
それぞれ しさ こしょう を おこないます。

<実習のポイント>

【治工具・測定器】「必要なものを選ぶ」「点検する」「指差呼称する」手順を実習してください。刃具は、刃先の欠け・刃こぼれや動きを、測定器は、破損箇所、動き、ゼロ表示の確認をポイントにしてください。

【設備】「電源入れ非常停止装置の作動を確認」「結果を指差呼称」「機械を動作させて安全停止装置の作動を確認」「結果を指差呼称」し、最後は設備を復旧させるまでの手順を実習してください。

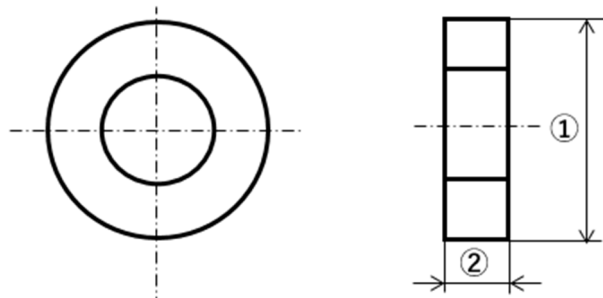
※『用語集』にもやり方のヒントが記載されていますので活用してください。

※指差呼称は『指差呼称とは(効果とやり方)』を参考に指差呼称して指導してください。

【かだい4】 けいじょう しあげ すんぼう けんさ さぎょう

<ひょうじゅん じかん : 24ぷん、うちきり じかん : 30ぷん>

しきゅう した せいけいひん の ばりきり と すんぼう そくてい を する しけん です。



ばり のこり は 0.5mm まで は OK です。かど の ぶぶん を きりこみ すぎては いけません。さんぷる で じぜん に れんしゅう しましょう。

<実習のポイント>

【仕上げ】「正しい工具を使って」「切込み過ぎがないよう」に仕上げられるよう実習してください。

【寸法測定】「正確に測定できたか」「正しく記録できたか」がポイントです。ノギスに力を入れて挟むと測定値が変わりますので、適正な力加減で正しく測定できるように実習してください。

※『用語集』にもやり方のヒントが記載されていますので活用してください。

※実習用のサンプルは事前に購入できます。(試験で使用する試料は当日お渡しします)

【かだい5】 がいかん けんさ さぎょう

<ひょうじゅん じかん : 8ぷん、うちきり じかん : 10ぷん>

とうかい で じゅんぴ した せいひん さんぷる を けんさ する しけん です。

<実習のポイント>

試料を見て「どういう不良項目にあたるか」判定できるよう実習してください。

※『用語集』にもヒントが記載されていますので活用してください。

【かだい6】 あんぜん えいせい(さぎょう おわりの あんぜん さぎょう)

<ひょうじゅん じかん : 4ぷん、うちきり じかん : 5ぷん>

かたづけ、せいそうを しけん します。

ごむくず、ゆかそうじ など あつめた ごみ は、ごみ ばこ に わけて すてます。

<実習のポイント>

作業終了時には「片づける」「掃除をする」「ごみを捨てる」といった基本動作を身につけてください。「片づける」とは元に戻すこと。「ごみを捨てる」とは分別して所定のごみ箱に入れることです。実習のポイントにしてください。

※ごみの分別は『試験会場設営ガイド』を確認してください。

② はんだん とう しけん

【かだい1】 ざいりょう きょうきゅう ためし かこう せいけいき による かこう さぎょう  
くしけん じかん : 10ふん>

てじゅん に あてはまる しゃしん を えらぶ しけんです。

<実習のポイント>

作業の基本手順が言葉も含めて理解するよう指導してください。また、各手順での正しいやり方はどう  
いうものかを教育してください。

(成形)材料セット→成形機起動→成形品取出し→成形品確認→指差呼称

2. おしだし かこう さぎょう

① せいさく とう さぎょう しけん

【かだい1】 ほごぐ、ふくそう の ちゃくよう

<ひょうじゅん じかん、うちきり じかん : せいげん なし>

じつぎ しけん に てきた ほごぐ、ふくそう を しけん します。

<実習のポイント>

『実技試験に適する服装と保護具(安全衛生)』に記載の項目、内容に従って、日々の実習で繰り返し  
指導してください。

【かだい2】 あんぜん えいせい(さぎょう はじめ の あんぜん さぎょう)

<ひょうじゅん じかん : 4ふん、うちきり じかん : 5ふん>

(1)さぎょう ばしょ、(2)つうろ、(3)ゆかめん の あんぜん てんけん および  
しさ こしょう の しけん を します。

しさ こしょう は (1)、(2)、(3) を それぞれ おこないます。

<実習のポイント>

「異常がわかる」「正常に戻す」「指差呼称する」手順を繰り返し実習してください。

(スペースの確保、不要物、水・油漏れ、危険なもの有無)

指差呼称は『指差呼称とは(効果とやり方)』を参考にして指導してください

【かだい3】 きかい じこうぐ そくていき とうの てんけん せいび さぎょう

<ひょうじゅん じかん : 10ふん、うちきり じかん : 15ふん>

さぎょう で つかう じこうぐ、そくていき の せんてい(えらぶ こと) と  
てんけん および しさ こしょう の しけん を します。

てんけん および しさ こしょう は、それぞれの じこうぐ、そくていき で  
おこないます。

おしだしせつび の あんぜん てんけん および しさ こしょう の しけん

をします。ひじょうていし および すくりゅー、はいかん などの あんぜん てんけん をした あと に、それぞれ しさ こしょう を おこないます。

<実習のポイント>

【治工具・測定器】「必要なものを選ぶ」「点検する」「指差呼称する」手順を実習してください。刃具は、刃先の欠け・刃こぼれや動きを、測定器は、破損個所、動き、ゼロ表示の確認をポイントにしてください。

【設備】「スクリューを回転させて点検」「結果を指差呼称し」、「非常停止装置の作動を確認」「結果を指差呼称」、最後は押出機を復旧させるまでの手順を実習してください。点検は、スクリューの回転、モーター異常音、配管の水漏れの有無をポイントにしてください。

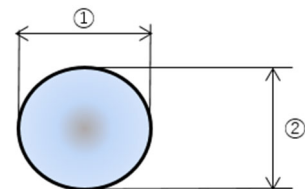
※「用語集」にもやり方のヒントが記載されていますので活用してください。

※指差呼称は「指差呼称とは(効果とやり方)」を参考にして指導してください。

【かだい4】 けいじょう しあげ すんぽう けんさ さぎょう

<ひょうじゅん じかん : 22ふん、うちきり じかん : 30ふん>

しきゅうした おしだしひん の さいだん と すんぽう そくてい をする しけんです。



さいだん こうさ は  $\pm 3\text{mm}$  です。ななめにかつとしてはいけません。

さんぷる で じぜん に れんしゅう しましょう。

<実習のポイント>

【仕上げ】「正しい工具を使って」「切り口が垂直水平になるよう」カットできるように実習してください。

【寸法測定】「正確に測定できたか」「正しく記録できたか」がポイントです。ノギスに力を入れて挟むと測定値が変わりますので、適正な力加減で正しく測定できるように実習してください。

※「用語集」にもやり方のヒントが記載されていますので実習で活用してください。

※実習用のサンプルは事前に購入できます。(試験で使用する試料は当日お渡します)

【かだい5】 がいかん けんさ さぎょう

<ひょうじゅん じかん : 8ふん、うちきり じかん : 10ふん>

とうかい で じゅんぴ した おしだしひん さんぷる を けんさ する しけん です。

<実習のポイント>

試料を見て「どういう不良項目にあたるか」判定できるよう実習してください。

※『用語集』にもヒントが記載されていますので活用してください。

【かだい6】 あんぜん えいせい(さぎょう おわり の あんぜん さぎょう)

<ひょうじゅん じかん : 4ふん、うちきり じかん : 5ふん>

かたづけ、せいそう を しけん します。

ごむくず、ゆかそうじ など あつめた ごみ は、ごみ ばこ に わけて すてます。

<実習のポイント>

作業終了時には「片づける」「掃除をする」「ごみを捨てる」といった基本動作を身につけてください。「片づける」とは元に場所に戻すこと。「ごみを捨てる」とは分別して所定のごみ箱に入れることです。実習のポイントにしてください。

※ごみの分別は『試験会場設営ガイド』を確認してください。

② はんだん とう しけん

【かだい1】 ざいりょう きょうきゅう、ためし かこう、おしだし せつび に よる かこう  
さぎょう

<しけん じかん : 10ぷん>

てじゅん に あてはまる しゃしん を えらぶ しけん です。

<実習のポイント>

作業の基本手順が言葉も含めて理解するよう指導してください。また、各手順での正しいやり方はどういふのかを教育してください。

(押し)スクリー回転→材料供給→ウォーミング～ダイ固定→押し→押出品カット・確認→指差呼称

3. こんねり あつえん かこう さぎょう

① せいさく とう さぎょう しけん

※【かだい5、6】は、ぎのう じっしゅう しどういん が つきそい のもと、しけん します。

【かだい1】 ほごぐ、ふくそう の ちゃくよう

<ひょうじゅん じかん、うちきり じかん : せいげん なし>

じつぎ しけん に てきた ほごぐ、ふくそう を しけんします。

<実習のポイント>

『実技試験に適する服装と保護具(安全衛生)』に記載の項目、内容に従って、日々の実習で繰り返し指導してください。

【かだい2】 あんぜん えいせい(さぎょう はじめ の あんぜん さぎょう)

<ひょうじゅん じかん : 4ぷん、うちきり じかん : 5ふん>

(1)さぎょう ばしょ、(2)つうろ、(3)ゆかめん の あんぜん てんけん および  
しさ こしょう の しけん を します。

しさ こしょう は (1)、(2)、(3) を それぞれ おこないます。

<実習のポイント>

「異常がわかる」「正常に戻る」「指差呼称する」手順を繰り返し実習してください。

(スペースの確保、不要物、水・油漏れ、危険なものの有無)

指差呼称は『指差呼称とは(効果とやり方)』を参考にして指導してください。

【かだい3】 きかい じこうぐ そくていき とうの てんけん せいび さぎょう

<ひょうじゅん じかん : 8ふん、うちきり じかん : 12ふん>

さぎょう で つかう じこうぐ、そくていき の せんてい(えらぶ こと) と てんけん および しさ こしょう の しけん を します。

てんけん および しさ こしょう は、それぞれ の じこうぐ、そくていき で おこないます。

こんねり あつえん せつび の あんぜん てんけん および しさ こしょう の しけん を します。

ひじょうていし および きゅうていし そうち の あんぜん てんけん を した あと に、それぞれ しさ こしょう を おこないます。

<実習のポイント>

【治工具・測定器】「必要なものを選ぶ」「点検する」「指差呼称する」手順を実習してください。刃具は、刃先の欠け・刃こぼれや動きを、測定器は、破損個所、動き、ゼロ表示の確認をポイントにしてください。

【設備】「電源入れ非常停止装置の作動を確認」「結果を指差呼称」「機械を動作させ1か所の急停止装置の作動を確認」「結果を指差呼称」し、最後は急停止装置のロックを解除し復旧させるまでの手順を実習してください。

※『用語集』にもやり方のヒントが記載されていますので活用してください。

※指差呼称は『指差呼称とは(効果とやり方)』を参考にして指導してください。

※当会の「認定基準」に従い、安全作業ができるよう、しっかりと実習してください。

【かだい4】 ざいりょう じゅんぴ さぎょう

<ひょうじゅん じかん : 5ふん、うちきり じかん : 7ふん>

えらんだ はいごう ざいりょう の じゅんぴ (ひんめい、しょう きげん、いぶつ こんにゆう の かくにん と しさ こしょう) および けいりょう を おこなう しけん です。

<実習のポイント>

以下をポイントに確認・計量し、結果を指差呼称する手順を実習してください。

【基準重量と公差】記載した内容を「現物と照合確認」する”

【使用期限】使用期限を「かんばん等で確認」する”

【異物確認】ゴミ・異物がないことを「現物で確認」する”

【計量】電子秤を「ゼロリセットしてから計量」する”「公差内で計量」する”

※『用語集』にもやり方のヒントが記載されていますので活用してください。

※指差呼称は『指差呼称とは(効果とやり方)』を参考にして指導してください。

【かだい5】 ざいりょう とうにゆう、こんねり あつえん せつび による かこう さぎょう

<ひょうじゅん じかん : 15ふん、うちきり じかん : 21ふん>

しじ に もとづき ろーる へ ざいりょう を とうにゆう し、かこう する しけん です。

<実習のポイント>

以下をポイントに作業できるよう実習してください。

【材料投入】「ロール中央付近」に投入する。「回転時は手鉤を使用」する。手で巻きつける場合は「ロールを停止」するなど

【巻取り・カット】「ナイフ面をロール下部」にあて、巻取り手は「バンクより 15 cm以上」離す。巻取りゴムの大きさは「直径手のひら以下」で「長さ1m未満」にするなど

※当会の「認定基準」に従い、安全作業ができるよう、しっかりと実習してください。

【かだい6】 けいじょう しあげ さぎょう

<ひょうじゅん じかん : 8ぷん、うちきり じかん : 10ぷん>

にんい の はば に しーと を さいだん する しけん です。

<実習のポイント>

指示された長さで裁断でき残ったゴムをロール下に排出できるよう、実習してください

※当会の「認定基準」に従い、安全作業ができるよう、しっかりと実習してください。

【かだい7】 あんぜん えいせい(さぎょう おわり の あんぜん さぎょう)

<ひょうじゅん じかん : 4ぷん、うちきり じかん : 5ぷん>

かたづけ、せいそう を しけん します。

ごむくず、ゆかそうじ など あつめた ごみ は、ごみ ばこ に わけて すてます。

<実習のポイント>

作業終了時には「片づける」「掃除をする」「ごみを捨てる」といった基本動作を身につけてください。

「片づける」とは元に戻すこと。「ごみを捨てる」とは分別して所定のごみ箱に入れることです。

実習のポイントにしてください。

※ごみの分別は『試験会場設営ガイド』を確認してください。

② はんだん とう しけん <しけん じかん : かだい1、2 を あわせて 10ぷん>

【かだい1】 すんぽう けんさ さぎょう

しゃしん の さぎょう の やりかた を みて かいとう する しけん です。

【かだい2】 がいかん けんさ さぎょう

しゃしん を みて かいとう する しけん です。

<実習のポイント>

【寸法検査】測定器の正しい使い方を教育してください(ダイヤルシクネスゲージ・直尺等)

【外観検査】シートの外観から不良個所が判定できること。不良の名称がわかることをポイントにしてください。

4. ふくごう せきそう かこう さぎょう

① せいさく とう さぎょう しけん

【かだい1】 ほごぐ、ふくそう の ちゃくよう

<ひょうじゅん じかん、うちきり じかん : せいげん なし>

じつぎ しけん に てきた ほごぐ、ふくそう を しけんします。

<実習のポイント>

『実技試験に適する服装と保護具(安全衛生)』に記載の項目、内容に従って、日々の実習で繰り返し指導してください。

【かだい2】 あんぜん えいせい(さぎょう はじめ の あんぜん さぎょう)

<ひょうじゅん じかん : 4ふん、うちきり じかん : 5ふん>

(1)さぎょう ばしょ、(2)つうろ、(3)ゆかめん の あんぜん てんけん および  
しさ こしょう の しけん を します。

しさ こしょう は (1)、(2)、(3) を それぞれ おこないます。

<実習のポイント>

「異常がわかる」「正常に戻す」「指差呼称する」手順を繰り返し実習してください。

(スペースの確保、不要物、水・油漏れ、危険なもの有無)

指差呼称は『指差呼称とは(効果とやり方)』を参考にし指導してください。

【かだい3】 きかい じこうぐ そくていき との てんけん せいび さぎょう

<ひょうじゅん じかん : 7ふん、うちきり じかん : 10ふん>

さぎょう で つかう じこうぐ、そくていき の せんてい(えらぶ こと) と  
てんけん および しさ こしょう の しけん を します。

てんけん および しさ こしょう は、それぞれの じこうぐ、そくていき で  
おこないます。

ふくごう せきそう せつび の あんぜん てんけん および しさ こしょう の  
しけん を します。

ひじょうていし、らいと かーてん などの あんぜん てんけん を した あと に、  
それぞれ しさ こしょう を おこないます。

<実習のポイント>

【治工具・測定器】「必要なものを選ぶ」「点検する」「指差呼称する」手順を実習してください。刃具は、刃先の欠け・刃こぼれや動きを、測定器は、破損箇所、動き、ゼロ表示の確認をポイントにしてください。

【設備】「電源入れ非常停止装置の作動を確認」「結果を指差呼称」「機械を動作させて安全停止装置の作動を確認」「結果を指差呼称」し、最後は設備を復旧させるまでの手順を実習してください。

※『用語集』にもやり方のヒントが記載されていますので活用してください。

※指差呼称は『指差呼称とは(効果とやり方)』を参考にし指導してください。

【かだい4】 ざいりょう じゅんぴ、ざいりょう きょうきゅう さぎょう

<ひょうじゅん じかん : 25ふん、うちきり じかん : 30ふん>

ざいりょう の じゅんぴ (ひんめい、しょう きげん、いぶつ こんにゆう の  
かくにん と しさ こしょう) および せつび への きょうきゅう を おこなう  
しけん です。



<実習のポイント>

以下をポイントに確認・計量し、結果を指差呼称する手順を実習してください。

【品名確認】正しい品名を記入し「現物と照合確認」する”

【使用期限】使用期限を「かんばん等で確認」する”

【材料セット】セットされている材料を「取り除いてから」、使用する材料をセットする

【異物確認】ゴミ・異物がないことを「現物で確認」する”

※『用語集』にもヒントが記載されていますので活用してください。

※指差呼称は『指差呼称とは(効果とやり方)』を参考にして指導してください。

【かだい5】 あんぜん えいせい(さぎょう おわり の あんぜん さぎょう)

<ひょうじゅん じかん : 4ぷん、うちきり じかん : 5ぷん>

かたづけ、せいそう を しけん します。

ごむくず、ゆかそうじ など あつめた ごみ は、ごみ ばこ に わけて すてます。

<実習のポイント>

作業終了時には「片づける」「掃除をする」「ごみを捨てる」といった基本動作を身につけてください。「片づける」とは元に戻すこと。「ごみを捨てる」とは分別して所定のごみ箱に入れることです。実習のポイントにしてください。

※試験での分別は『試験会場設営ガイド』を確認してください。

② はんだん とう しけん <しけん じかん : かだい1、2 かく 10ぷん、けい 20ぷん>

【かだい1】 ためし かこう、ふくごう せきそう せつび による かこう さぎょう

<しけん じかん : 10ぷん>

てじゅん に あてはまる しゃしん を えらぶ しけん です。

【かだい2】 すんぽう けんさ、がいかん けんさ さぎょう

<しけん じかん : 10ぷん>

しゃしん を みて かいとう する しけん です。

<実習のポイント>

タイヤ又はベルトを製造する一般的な工程の試験です。試し加工では初品の品質確認を行います。作業の基本手順が言葉も含めて理解するよう指導してください。また、各手順での正しいやり方はどういふものかを教育してください。

(タイヤ)インナー巻き→カーカス巻き→ビード挿入→サイド巻き→ベルト巻き→トレッド巻き→設備起動→取出し・確認→結果を指差呼称する

(ベルト)型(心金)セット→ゴム挿入→コード巻き→外観確認→ゴム巻き→寸法確認

寸法・外観検査は、「測定個所の名称と現物の場所がわかる」こと。「不良個所が判定できその不良の名称がわかる」ことがポイントになります。

—いじょう—

2024ねん 1がつ 16にち かいいてい